

東京湾における施策ごとの汚濁負荷 削減目標を設定



The Knights

東京湾への陸域汚濁負荷削減のための各施策による汚濁負荷削減量の算定手法等を検討してきた東京湾再生推進会議の陸域対策分科会はこのほど、各部会で取り組んでいる施策ごとの負荷削減目標量を公表しました。

行動計画の最終年度である2012年度における削減目標量は、2003年度に策定した東京湾再生のための行動計画が掲げた下水道の整備や河川浄化対策、農地における適正施肥の推進等による面源負荷対策など、これまで定量化が難しかった対策も含め、実施可能な全ての対策を実行すると、COD 31,340kg/日、全窒素 28,869kg/日、全リン 3,073kg/日となっています。

これは、2007年度にまとめられた「東京湾流域別下水道整備総合計画に関する基本方針策定調査報告書」を参考に、排出源別の汚濁負荷量や削減量を算定し、下水道の普及および高度処理の実施など各施策ごとによるCOD、全窒素、全リンの汚濁負荷削減目標値を設定したものです。

また、具体的な汚濁負荷削減量や役割分担を明確にするために行われた東京湾解析モデルのシミュレーションによれば、各施策の負荷削減目標量を達成すると、最終年度には東京湾の底層のDOが0.5mg/l未満の海域がほぼ解消されるという結果になります。行動計画の達成目標の目安は「年間を通じて底生生物が生息できる限度」としていますが、施策を実行すれば12年度には目標が実現可能になります。

当社では、COD、窒素、リンの分析を始めとした生活環境項目の分析について多くの実績と経験があります。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2009年3月4日付 環境新聞
2009年2月25日付 東京湾再生推進会議HP

水質分析箇所 清水いより